

2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年6月17日(日)	実施ブロック	第2ブロック	参加人数	41名
会場	葛飾区水元総合スポーツセンター				
大会名	葛飾区区民大会 第61回少年少女サッカー大会				
指導員名	川澄正史、後藤真由美				

指導会当日の概要

- ・主テーマは、審判員の試合前打ち合わせであった。
- ・会議室にて、第一試合および第二試合担当審判団4名と各観戦者16名ほどの2グループに分かれ、20分間ほどの打ち合わせを実施。
- ・人工芝フルピッチにて6年生イレブンの20分ハーフ2試合。
- ・観戦時にブロック内指導員による観戦研修の実施。
- ・試合後に審判団と審判育成指導員との振り返りを実施。

ブロックコメント

- ・2Bは、江戸川区と葛飾区で構成されておりますが、リーグ戦の消化及び、各区の大会実施等の関係で、2区同時での研修会実施が日程的に難しい為、研修会も其々に対して行なう様に調整致しました。
- ・今回は、葛飾区所属のチームを対象に葛飾区の大会を利用し実施致しました。
- ・普段の帯同審判では、時間的な余裕も無く、打合せ等も十分にされていないのが現状です。そこで、本来の審判員がすべき事の、打合せ・フィールドチェックから振り返りまでを経験して頂き、その重要性を知って頂き、今後の審判活動に活かして頂きたいと思い実施致しました。
- ・指導員の川澄様、後藤様の両名の豊富な経験を基に、的確かつ親切な指導内容を受け、参加審判員も「大変参考になり良かった」との感想を申しておりました。川澄様、後藤様には、お礼申し上げます。
- ・今後もこの様な研修会を続けて行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・各審判団による試合前打ち合わせ時間は短く済んでしまったが、続けて、実施意義を説明し、重要な項目は何か、どのように話すか等を説明したので、一定のご理解を頂けたと思う。
- ・試合のレフェリングについては各人が任務を果たすべく真剣に務められていた。
- ・試合後の振り返りでは、審判団4名と事前打ち合わせが生かされたかの観点で意見交換を行った。
- ・実際の場面と打ち合わせ事項との対応について説明させて頂き、打ち合わせの必要性を再認識頂けたと考える。

指導会写真



2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年4月8日(日)	実施ブロック	第6ブロック	参加人数	100名
会場	赤羽スポーツの森公園競技場				
大会名	第6ブロック審判講習会				
指導員名	古賀研二、池尻 健				

指導会当日の概要

- ・6ブロックが開催している試合を担当している審判員を対象に(約100名)、実技講習および座学を実施しました。
 - ・実技講習(90分)は、「主審の動きとポジショニング」「副審の動きとシグナル」「オフサイドの判定」をテーマに、プラクティカルトレーニングを実施しました。
 - ・座学(60分)は、「2017/18競技規則改正に関する補足」を解説しました。
- また、「審判員に必要なものは？」をテーマに、全受講生でグループディスカッションを実施しました。

ブロックコメント

- ・本日はお忙しい所、誠に有難うございました。
- ・本日の講習会をブロック内において、各チームの活動に反映してもらえるよう、ブロック役員一同本日の反省会にて再確認し 終了することが出来ました。
- ・今後とも、何卒宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・人数が多く非常にタイトなスケジュールでしたが、受講生は、積極的かつ真剣にメニューに取り組み、普段の審判活動への意識の高さが感じられました。
- ・実技講習に関しましては、受講者の審判技術がまちまちとのことだったので、基本的な審判技術の習得および全受講者ができるだけ体験できることをコンセプトに、プラクティカルプランを作成しました。
- ・経験が浅い受講者は、基本技術の習得でき、ベテランの受講者は、基本技術の再確認ができたと考えます。
- ・座学に関しましては、受講生の競技規則改正の理解が深まり、ディスカッションにより、改めて審判員が行うべきことが確認できたと考えます。

指導会写真

